

津市防災だより

令和2年10月1日発行
令和2年第2号
防災室
☎229-3104 FAX 223-6247

津市自主防災協議会安濃支部の取り組み

津市自主防災協議会安濃支部会長 内田政寛

安濃地域では、各自治会において自主防災活動を行っており、防災訓練をはじめ、資機材や備蓄品の確保に取り組んでいます。

また、毎年9月の第1日曜日には、安濃支部全体の事業として、地域内の全自治会が参加する防災訓練を実施しています。この防災訓練には、地域住民のほか、消防団、消防署、警察署、安濃総合支所、津看護専門学校の生徒にも協力をしていただき、総勢200人以上に参加していただいています。訓練の内容は、大地震の発生を想定した倒壊家屋からの救出救護訓練をはじめ、心肺蘇生・AEDの取り扱いを行う救急訓練のほか、積土のうや組立トイレなど、資機材の取り扱い訓練を行っています。

近年、日本各地で想定を上回る災害が発生し、その度にかげえのない生命が奪われている現状を考えると、私たちがなすべきこととして、自助共助の取り組みがますます重要になってくると実感しています。そのため、現状の課題も含め、今

後は住民による避難所運営、避難行動要支援者への対応など、地域で真剣に取り組んでいかなければならないと思っています。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況により防災訓練をやむなく中止することとしました。一日も早く、この状況が終息し、皆さんが安心して防災活動に取り組めるようになることを願っております。



災害に備え、感染症対策を踏まえた事前の準備を

津市では、感染防止用の物品や簡易間仕切りを配備するなど、避難所での感染症対策を行っています。命の危険を感じるような大雨・洪水などの災害時には、新型コロナウイルスに感染するリスクを恐れずに事前に検討した避難先や避難所に避難してください。

避難所では、マスクの着用、咳エチケットなど基本的な感染対策を徹底し、小まめな手洗いを心掛け、周りの人と距離をとる等、密にならないよう気を付けましょう。

自分や大切な人の命を守るため、災害に備えて、日頃から以下のような準備をしておくことが大切です。

避難行動等の確認

家族や近所の人とハザードマップで、自宅やよく立ち入る場所にどのような危険があるか確認しておきましょう。また、避難所までの移動手段や経路についても相談しましょう。



ハザードマップ等

避難先を事前に検討

自宅で安全確保が可能な場合には、自宅の2階などへの避難(垂直避難)も検討しましょう。

親戚や友人の家、近所の安全な場所など、避難所以外の避難先も考え、前もって避難先に相談しておきましょう。

